

ポストコロナ社会の具体化に向けた調査検討費補助事業の交付先決定

ポストコロナ社会に向けた新たな社会づくりの取組を企業、大学、団体をはじめ県民の英知を結集して展開するため、「ポストコロナ社会に向けて～兵庫からの挑戦～」の提案を6月末まで募集しました。そこで受け付けた提案をはじめ、ポストコロナ社会に向けた取組を支援するための補助制度を創設し、7月17日（金）まで公募を行いました。

このたび、別添のとおり交付先事業者を決定しましたので、お知らせします。

1 申請の状況

申請件数	採択件数
109件	34件

2 採択事業の概要

別添一覧のとおり

【参考】補助事業の概要

ポストコロナ社会に向けた新たな社会づくりに取り組む企業、大学、団体等が兵庫県内で行う調査研究、実証実験等に要する経費を支援

区 分	一般枠		特認枠
補 助 率	10/10以内		1/2以内
補助上限額	調査研究のみ (実証実験なし)	実証実験あり	
	1事業あたり 50万円 (予算の範囲内)	1事業あたり 200万円 (予算の範囲内)	1事業あたり 1,000万円 (予算の範囲内)

※特認枠の該当なし

問い合わせ先 兵庫県企画県民部ビジョン局ビジョン課ビジョン班
TEL 078-362-3034 e-mail vision@pref.hyogo.lg.jp

ポストコロナ社会の具体化に向けた調査検討費補助事業 採択事業一覧

1 危機管理

No.	区分	事業者名	事業概要
1	新薬 開発	神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科	<経口ワクチンの開発> 注射ではなく、安全性の高い「経口」という優位性を持ち、低コストで大量生産も可能なワクチンを開発。2022年度の早期承認をめざし、今年度は経口ワクチンを作製し動物実験で有効性を確認
2		兵庫県立大学大学院 工学研究科	<コロナウイルス増殖阻害剤の開発> 独自に開発したシステムにより、約20万種の化合物からコロナウイルスの増殖を阻害する化合物を探索。有効な化合物の選定後は、関係機関とも連携して新たなコロナ薬剤開発を推進
3		神戸大学大学院 保健学研究科	<感染性のないコロナウイルス遺伝子の構築> 通常の実験室で使用可能な、感染性のない自己複製可能なコロナウイルス遺伝子を構築（現在は高度な病原体封じ込め施設でのみ研究が可能）。これにより薬剤開発研究の加速化に貢献。
4		神戸大学大学院 医学研究科	<新薬開発研究に資する基礎情報の把握> 実際のコロナ患者の回復過程で増加する細胞を同定。この細胞から産生される抗体はコロナの改善に寄与すると予測され、当データを発信することで新薬開発研究を促進
5	診断	神戸大学 医学部附属病院	<胸部単純X線写真によるコロナ自動診断> 胸部単純X線写真から、AI（深層学習）によりコロナ肺炎を自動診断するソフトウェアを開発。PCR検査より高い診断精度を実現する見込み
6	保健 医療 福祉	兵庫県立大学 看護学部	<新型コロナ拡大に対応した看護師の教育プログラム開発> 重症化が速い新型コロナ患者や、集中治療室から一般病棟に移った人工呼吸器装着患者・重症患者に対応できる看護師のe-learningも含めた教育プログラムを開発
7		兵庫県立大学 看護学部	<災害等支援業務従事時の保健師の実態把握> 子育て・介護を行いながら緊急参集、災害支援業務を継続した保健師の実態を調査。調査結果を踏まえ、子育て・介護中の保健師を支援するシステムを検討・提示
8		神戸常盤大学 保健科学部	<在宅ケアの事業継続に資するツールの開発> コロナ禍での訪問看護ステーションや居宅介護事業所の課題を把握し、ハイリスク環境下での事業継続のためのアセスメントツールを開発。ワークショップを通じ現実適用性を高めて普及を推進

No.	区分	事業者名	概要
9	保健 医療 福祉	兵庫県立大学 地域ケア開発研究所	<感染期における切れ目のない子育て支援> 子育て中の母親（約2,000名）と支援者を対象に、 <u>感染拡大期</u> での各種子育てサービスの利用状況等を調査。調査結果を踏まえ、 <u>安全安心な周産期ケア・母子保健サービスの提供モデル</u> を提案
10		武庫川女子大学 栄養科学研究所	<高齢者の生活への影響把握と対策の提案> 外出自粛に伴う高齢者の食生活状況、身体活動量、社会活動状況について実態調査を実施（約5,000名）。調査結果を踏まえ、介護予防を目的とした <u>日常生活支援対策</u> を提案
11	防災	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科	<複合災害に備えた防災対策> コロナ禍での豪雨災害（ <u>球磨川流域</u> ）における災害対応状況から課題や教訓を抽出。それを踏まえて <u>丹波市</u> においてケーススタディを行い、市町や県に求められる複合災害対策を提示
12		株式会社木栄（丹波市）	<木材パーティションでの避難所の安全確保> 避難所での密を回避するため、工具や金物が不要で誰でも簡単に設置できる木製パーティション（ <u>県産木材により生産</u> ）を普及。屋外での利用を考慮し、温熱環境の計測など、住環境を検証

2 デジタル化

No.	区分	事業者名	概要
13	医療 看護	神戸大学大学院 医学研究科	<遠隔診療・遠隔教育システムの構築> メガネ型ウェアラブルカメラや低遅延のウェブ会議システムの導入により、 <u>遠隔地にいる専門医の指示を仰ぎながら、現場の医師が診療できる仕組み</u> を構築（ <u>丹波医療センター</u> で実施）
14		公益財団法人新産業創造研究 機構（神戸市）	<遠隔診断車両の開発> 高品質の遠隔診療空間を備えた遠隔診断車両を開発。地域に分散配備することで、質の高い診療を居住地の近くで受けられる環境を実現（R2はニーズ調査、要件整理）
15		神戸市看護大学	<オンライン看護等の推進> オンライン看護による新たな看護提供体制の構築や、 <u>地域看護・介護の事業者等に対する感染拡大期の支援体制の構築</u> 等を推進
16	保育	兵庫教育大学	<オンライン保育の実態把握> コロナ禍で密室育児にあえぐ母親の新たな繋がりの方として注目される <u>オンライン保育</u> について、利用者インタビュー等を通じてその <u>ニーズや効果、課題</u> 等を把握

No.	区分	事業者名	概要
17	教育等	明石工業高等専門学校	<オンライン防災教育の展開> 遠隔地を対象にしたオンライン防災出前授業や、避難所運営ゲームのオンライン版の開発、防災活動団体の横のつながりを作るためのオンラインワークショップ等を実施
18		神戸大学大学院 医学研究科	<ネット・ゲーム依存対策> ネット・ゲーム依存を予防するためのスマホアプリの開発を推進。試作・サービスを県内の青少年に実際に使用してもらい、フィードバックを得る実証実験も実施

3 産業振興・地域活性化

No.	区分	事業者名	概要
19	産業 振興	NPO法人コミュニティリンク (宝塚市)	<オンライン商談会等の開催> 中山間地域の中小企業等を対象に販路拡大のためのオンライン商談会を開催するほか、 <u>テレポーテーションロボット</u> を活用したリモートでの製造現場視察等を実施
20		株式会社センサーズ・アンド・ワークス (神戸市)	<センサを使った店舗等の密の可視化> センサの設置により店舗や施設の過密状況を可視化し、ネット上でリアルタイムに表示して過密の発生を防止。カメラに比べて安価(カメラの1/10)で設置可能で、プライバシーにも配慮
21		株式会社キ・ボン (加古川市)	<飲食店での感染対策> カメラ画像のAI解析により混雑状況を把握しSNSで配信するとともに、 <u>スマホによる事前注文・決済や入店予約</u> を行うなど、飲食店の様々な感染対策を実践・検証し、成果を普及
22		株式会社フードピクト (神戸市)	<県産食材100%の植物由来肉の開発> 県産食材100%の植物由来肉を開発するとともに、 <u>生産・加工・販売のすべて県内で完結する体制を構築</u> することで、地域内経済循環モデルを提示
23		株式会社Sydecas (加古川市)	<医療介護市場向けスイーツの開発> 外出が制限される高齢者・傷病者の食の改善に向け、介護・医療現場での実証を通じて、 <u>味・低糖質・低カロリーに加え、咀嚼・嚥下・保存性に配慮した次世代スイーツ</u> を開発
24		株式会社ラジオ関西 (神戸市)	<新たなオンラインイベントの実施> 物産展等のイベントをリアルとオンラインで並行実施。SNS、動画、ネット通販のほか、 <u>ラジオ生放送とも連動</u> させる新たな形のイベントを構築 (R2は山田錦乾杯まつりでの実施を予定)
25		株式会社BUZZPORT (神戸市)	<ひょうご大学生観光局の設置> 大学生を対象にオンライン学習と観光事業の現場体験を組み合わせた <u>観光人材育成プログラム</u> を提供し、若者視点での地域の魅力発掘やSNSマーケティングを展開

No.	区分	事業者名	概要
26	産業 振興	兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究 科	<農村地域の生活文化を活かした観光振興> 農村地域の個人住宅の「日本らしい生活文化」を観光資源として捉え、外国人向け文化体験プログラムを構築。併せて、プログラム構築から広報、ガイドまで担える人材を育成
27	芸術	神戸大学大学院 国際文化学研究所	<芸術家の状況調査と支援のあり方検討> コロナ禍における芸術家の活動状況をアンケートやヒアリングにより調査。芸術文化への支援のあり方を検討し、シンポジウム開催により成果を報告
28	地域 活性化	特定非営利活動法人コミュニ ティ事業支援ネット (西宮市)	<地域団体活動のデジタル化> 地域団体のWEB上での情報発信（回覧板のオンライン化や活動報告、地域内ルールの見える化）や、オンライン会議のための機器貸出、使用方法の指導など、地域活動のデジタル化を支援
29		明石工業高等専門学校	<新たな都市祭礼のあり方検討> 祭礼実施者や住民を対象に、感染拡大期における祭礼へのニーズ等を調査し、予防対策を十分にとった新たな祭礼の形を提案（十日戎、西宮まつりを対象に実施）
30		認定NPO法人ソーシャルデザ インセンター淡路 (南あわじ市)	<コロナの影響の定量的評価と地域づくり> コロナ禍のもたらす社会変動が、淡路島の将来にどのような影響を及ぼすかについて、暮らし、産業、生産、消費、移動、エネルギー等の観点から定量的に評価し、今後の地域づくりに活用

4 分散型社会

No.	区分	事業者名	概要
31	テレ ワーク	関西学院大学 社会学部	<テレワーク移住> テレワーク移住の実態と移住希望者のニーズを調査・分析するとともに、 <u>テレワーク用の部屋を設計・施工</u> 。モデルとなる物件を各地域に設け、 <u>体験移住</u> の機会を提供
32		興隆寺町内会（淡路市）	<テレワーク移住> お試し住宅内の一部を <u>テレワーク専用部屋に改修</u> するとともに、その周辺の河原や山中等の <u>自然豊富なスポットにネット環境を整備</u> 。 <u>体験移住</u> を通じ、移住先としての淡路島の可能性を分析
33		株式会社シマトワークス (洲本市)	<ワーケーション> 宿泊施設と連携したワークスペースの整備、リモートワークに関する <u>研修の実施</u> 、 <u>食や観光コンテンツの充実強化</u> など、多数の人を誘客できるワーケーションの仕組みを構築
34	二地域 居住	一般社団法人まち・ヒト・未 来創造研究所（西脇市）	<複合災害に備えた疎開避難先の確保> 都市住民が安心して避難できる「 <u>疎開避難先</u> 」の拡大をめざし、 <u>ニーズ調査</u> を行うとともに、 <u>避難疎開体験ツアー</u> や、 <u>新しい生活様式（二地域居住等）を提案するサイト</u> を立ち上げ